

町民の声

「議会の活性化」を

塩屋 木村 博

私も地域のお世話をするようになって、時々議会を傍聴する機会があり、今日までに感じたことを若干述べてみたいと思います。

松前町は平成の大合併から外れ、単独で生きていく道を選択しましたね。そうすると交付金の減額、もちろん合併特例債などはありません。

そこで将来の松前町を

考える理事者は、緊縮財政ながら町発展に向けた政策を議会に提案するものと考えます。そして、その政策に質問、疑問を投げかけるのは議員のこれまた責務であり特権でもあります。そしてこれが議会の論戦の場であり、理事者から、問、質問に

対してどのような答弁を引き出すか、議員さんの腕の見せ所でもあります。さて、最終的には提案に対し賛成し決定された事項については、理事者

と議員は車の両輪といわれるように、お互いが切磋琢磨して、町民、支援者に分かりやすく説明し、行政を推進していくものだと私は思います。今9月議会ではあまり論戦になるような議案が無かったのか知りませんが、議長、副議長辞任に伴う選挙がおこなわれ、新しい顔ぶれが揃いました。

議長就任あいさつで言われていました停滞していた議会のありかたや議会改革など、議員の皆さ

ん方のいっそうのご奮闘を期待いたします。



傍聴席

初めての傍聴

浜 Y・M

初めて議会を傍聴しました。

本会議（一般質問）の内容は、女性・男性・女性議員の順で、防災・支援・原発・学校教育・自然災害・高齢者の暮らしと健康等各対策など、私

たちの身近な問題を経験豊かな知見が加わって議論を行っていました。様々な方面から、議員の前向きな先進的な質疑に対し、答弁する側も明確に回答。ただし、2回の休憩？どこかの議会みたいな居眠りもなし。毎日よくするための議論が、このようにされていることを実感しました。

松前町に住んでみて、

（水・食・公園・義農作兵衛さんなど）魅力ある町です。もっと議論を活性化し、よりよい方向をそこから見出して、魅力ある松前町となるよう期待しています。

広報委員会からのお知らせ

本会議の様子をライブで中継して、皆さんのパソコンから傍聴できるように、なつて1年以上たちました。

ようやく、このシステムを利用しての方々よりご意見を頂くことも増えてきました。

住民の皆さんに、議会の生のやり取りを見てもらい

「議員自身も緊張感を持って議論に臨む」この形が確立すれば、更に開かれた議会となるでしょう。次号から「パソコン傍聴から」の欄も掲載予定です。★投稿お待ちしています。



傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。

（次回は12月上旬の予定です）

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

（500字程度）

【宛先】

松前町筒井631

議会広報編集特別委員会

「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail :

500gikai@town.masaki.ehime.jp